



品川区

面積22.84km²
 世帯数228,275世帯
 人口404,405人
 (うち外国人).....12,466人
 予算1,891億円
 職員数2,713人



歴史・見所・名所

品川区は古い歴史を持つまちです。「荏原」の地名は万葉集に、「大井」は延喜式に見られる由緒ある地名です。また、「品川」は中世には武蔵国の表玄関・品川湊として、江戸時代には東海道の第一の宿として交易の拠点となり、明治時代には日本のビールの先がけである「品川^{しながわけんビール}縣麦酒」の醸造所や官営硝子^{がらす}製造所が設立されるなど、近代産業の発祥の地として発展してきました。

また、考古学発祥の地として知られる大森貝塚をはじめ、今なお江戸の面影を残す旧東海道の町並みや大名屋敷跡の戸越公園や池田山公園などがあります。

一方で、再開発が進む大崎は副都心として生まれ変わり、天王洲周辺には水辺の魅力的な施設や景色に多くの人が集まります。武蔵小山や中延、戸越には全国でも有数の商店街があり、にぎわいを見せています。

こうした伝統と都心の魅力が共存するまち、そんな「わ!」と驚く品川区を全国に発信するため、「わ!しながわ」を合い言葉に、区に愛着を持ち、住み続けたい、住んでみたい、訪れたいと思える品川区をこれからも発信していきます。



© 22 SANRIO APPR. NO. L 632623
 しながわ観光大使シナモロール

サンリオの大人気キャラクターが区の観光大使として観光をPRしています。



シティプロモーションの展開
 「わ!しながわ」には、この後に続く言葉を区民の方が自由な発想で思い描き、区の魅力を発信していただきたいという思いを込めています。



山北町とのふれあい交流
 昭和63(1988)年に「水と緑のふれあい交流協定」を締結。文化団体を派遣し、町のイベントを盛り上げ、交流事業を促進しています。



概要

品川区は、東京都の南東部に位置し、東京湾に面する臨海部と山の手に連なる台地から形成され、面積は22.84km²で、40万人を超える人々が生活しています。

国際都市東京の表玄関に位置する品川区にはJR・私鉄など14路線が走り、駅は延べ40あり、交通アクセスが大変充実しています。さらに、羽田空港の国際化、また将来はリニア中央新幹線の始発駅として品川駅が計画されるなど、生活都市と国際都市の両面を持つ个性的な都市として、より一層の発展が期待されています。

区内には、約200の町会・自治会があり、地域コミュニティの核として活躍している町会・自治会活動に対し、平成28(2016)年4月に23区初となる『町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例』を制定し、地域活動を積極的に支援しています。また、NPOやボランティア団体、企業、大学等の社会貢献活動も活発に行われ、さらに、支え愛・ほっとステーションを軸とした地域福祉の展開による地域力の向上など、さまざまな主体との連携を強化したまちづくりが進められています。



主要課題

昭和22(1947)年に品川区と荏原区が合併し「品川区」となり、平成29(2017)年3月で区制70周年を迎えました。そうした今、品川区を取り巻く環境は、羽田空港アクセス新線やリニア中央新幹線の開通計画など、大きく変化しており、これらの状況を絶好の機会ととらえ、未来に向けたチャレンジの施策に積極果敢に取り組んでいます。



将来展望

品川区基本構想と長期基本計画

平成20(2008)年に策定した品川区基本構想に掲げる区の将来像「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」を実現するため、平成21(2009)年に品川区長期基本計画を策定し、実効性のある取組みを進めてきました。

令和2(2020)年には品川区のさらなる発展・飛躍に向けた歩みを確かなものとするため、新たな長期基本計画を策定しました。新しい長期基本計画では、今後大きく変化していくであろう将来の動向を踏まえた4つの視点を取り入れるとともに、取り組むべき施策をわかりやすく示すため、3つの政策分野で構成する計画体系としました。

未来につなぐ4つの視点

- ① 超長寿社会に対応する視点
- ② 多文化・多様な生き方を尊重する視点
- ③ 強靱で魅力あるまちを未来につなぐ視点
- ④ 先端技術を活用して課題解決と発展を図る視点

「地域」「人」「安全」の3つの政策分野

① 地域 にぎわい 活力

誰もがつながる魅力ある地域社会の実現、学びとスポーツの楽しさが広がる環境づくり、伝統・文化を継承し親しむ環境づくり、地域の活力を高める産業の振興、まちの魅力を活かした都市型観光の推進、魅力的で良好な都市景観の形成、水と親しむみどり豊かなまちづくり

② 人 すこやか 共生

地域における共生社会の実現、生涯を通じた健康づくりの推進、子どもの笑顔があふれるまちの実現、未来を切り拓く学校教育の推進、青少年の成長と自立の支援、高齢者が安心して暮らせる環境づくり、障害のある人がいきいきと暮らせる環境づくり、平和で人権が尊重され多様性を認め合う社会の実現

③ 安全 あんしん 持続

区民を災害から守る対策の推進、地球環境にやさしいまちづくり、安全と安心を体感できる地域社会の実現、区民と進める交通安全のまちの実現、地域特性を活かした計画的なまちづくり、快適な交通環境の整備

これら3つの政策分野は、いずれも区民生活を支える重要な要素であり、相互に連携を図りながら、多様化する区民ニーズに応える取組みを進めていきます



早川町とのふるさと交流

平成2(1990)年に協定を締結。令和4(2022)年には交流30周年を記念して、“マウンントしながわ”に「きずなの鐘」を設置しました。



水辺観光の推進

区の魅力の一つである水辺(天王洲、目黒川、しながわ花海道など)を活用したイベントを開催しています。



しながわ水族館リニューアルへ

令和3(2021)年に30周年を迎えたしながわ水族館。次世代水族館を目指して、令和9(2027)年度にリニューアルオープン予定。



エコルとごしオープン

品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」が令和4(2022)年オープン。環境について楽しみながら学べる施設で、都内公共建築物初の「Nearly ZEB」認証の取得をしました。